

令和3年度 水道事業・工業用水道事業会計 決算見込(速報版)の概要について

1 経営収支概要

(1) 水道事業会計

給水収益が、新型コロナウイルスの影響を踏まえた水道料金の減免措置などにより減少した前年度に比べ増加したことなどから、経常損益(86.9億円の黒字)は、前年度に比べ48.4億円の収支改善となる見込みです。また、当年度損益(84.0億円の黒字)についても、前年度に比べ24.6億円の収支改善となる見込みです。

(2) 工業用水道事業会計

給水収益の増加などがあつたものの、物件費が増加したことなどから、経常損益(2.9億円の黒字)は、前年度に比べ0.7億円の収支悪化となる見込みです。また、当年度損益(2.2億円の黒字)についても、前年度に比べ0.8億円の収支悪化となる見込みです。

2 資金不足比率について

令和3年度決算においては、水道事業会計、工業用水道事業会計ともに、資金不足が生じる見込みはありません。

※ 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、公営企業会計については、会計ごとに資金不足比率を算定することとされ、平成20年度決算から、資金不足比率が経営健全化基準(20%)以上となる場合は、経営健全化計画の策定が義務付けられました。

3 経営収支

【水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和3年度 決算見込	令和2年度 決 算	差 引	増減率 (%)
経 常 収 益	58,045	53,904	4,141	7.7
うち給水収益	53,576	49,284	4,293	8.7
うち受託工事収益	104	42	62	著増
うち長期前受金戻入	1,275	1,294	△ 18	△ 1.4
経 常 費 用	49,351	50,054	△ 703	△ 1.4
うち人件費	11,035	11,208	△ 173	△ 1.5
うち物件費	17,174	17,028	146	0.9
うち資本費	18,943	18,970	△ 27	△ 0.1
経 常 損 益	8,694	3,850	4,844	
特 別 利 益	318	2,091	△ 1,773	△ 84.8
特 別 損 失	606	0	606	皆増
当 年 度 損 益	8,405	5,941	2,465	
累積剰余金（△累積欠損金）	14,346	0	14,346	
資 金 不 足 比 率	—	—		
企 業 債 残 高	102,465	109,692	△ 7,227	△ 6.6

【工業用水道事業会計】

(単位：百万円)

	令和3年度 決算見込	令和2年度 決 算	差 引	増減率 (%)
経 常 収 益	1,548	1,485	64	4.3
うち給水収益	1,319	1,287	32	2.5
うち受託工事収益	59	11	48	著増
うち長期前受金戻入	145	145	0	△ 0.2
経 常 費 用	1,263	1,126	138	12.2
うち人件費	118	129	△ 12	△ 8.9
うち物件費	635	492	142	28.9
うち資本費	407	415	△ 8	△ 1.8
経 常 損 益	285	359	△ 74	
特 別 利 益	125	0	125	皆増
特 別 損 失	192	63	129	著増
当 年 度 損 益	218	296	△ 77	
累積剰余金（△累積欠損金）	1,280	958	322	
資 金 不 足 比 率	—	—		
企 業 債 残 高	233	337	△ 103	△ 30.7